

一般質問

不平等行政をなくせ



廣瀬 擁 議員

市長の政治姿勢について

質問 タウンミーティングの感想について。

市長 市民参加による市政を目指し、早くからやりたかった。地域の集会所であったが、市民が全島に目を向けた意見が多くて大変よかった。実現できるものは早く実行していく。

税金について

質問 平成16年度の支所別不納欠損額と上位3支所の徴収体制を問う。

市民課長

次のとおり。

16年度不能欠損額上位順 (単位千円)			
両津	521件	12,477	
佐和田	252件	11,290	
畑野	375件	8,984	
金井	703件	8,675	
小木	271件	8,668	
新穂	46件	2,537	
相川	116件	1,433	
真野	9件	205	
羽茂	0	0	
赤泊	0	0	
合計	2,293件	54,269	

県税部の応援をいただき、輪戸徴収、文書、電話催告等をおして徴収に努める。

佐渡観光について

質問 ゴールデンウィーク中の佐渡観光客の入込み及び減少の原因を問う。

市長 次のとおりである。

ゴールデンウィーク中の観光客数	
平成16年	93,851人
平成17年	83,254人
	△11,597人 (△12.36%)

予約比で27%減であったが盛り返した。曜日配列が大きな要因と感ずる。結束して佐渡観光に向けた努力が不足していたと思う。

イベントについて

質問 観光資源開発室が進めている「佐渡のお宝・魅力と一緒に発掘しましょう！」の企画と佐渡百選との違いは。



佐渡お笑い親善大使 「子宝」

市長 佐渡百選は県の案で地域振興局である。それを補完することで、佐渡百選が佐渡の地域にあったお宝なのかを再考する意味もある。

質問 「佐渡、お笑い島計画」において取り上げられた予算のくい違いについて。

市長 費用対効果の判断は難しいが、新しい企画の効果は、メディアを通して全国どこでも見られることでもあり、今後に期待をしたい。

助役 実行委員長としてやったことであるが、いささか配慮に欠けたところがあった。

行政システムについて

質問 補助金を出し、行政内に事務局がある。また地域格差のある行政サービスが生じている。佐渡市補助金条例違反にはならないのか。

財政課長

規則によれば予算の適正な執行、あるいは交付決定を定めたことで、行政内に事務局を置くことについては別に定めはない。

質問 佐渡情話、野口健康環境学校について、産業経済委員会や一般質問で事業費や事業内容に異議があったにもかかわらず、6月補正で予算の減額がされてないが、その後の経過を問う。

市長 補助金を出す方と受ける側が一緒では、良い例でない。できるだけ早く行政と切り離すよう指導していく。行事も教育面の方で取り組む方がよいものか、いずれにせよ精査をして対処したい。